

# 子どもたちによるネット上の 不適切な書き込みの現状

投稿しよう♪

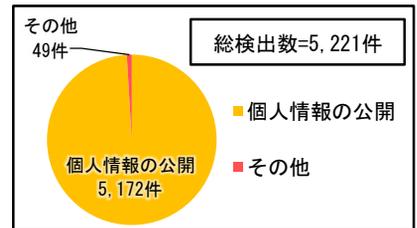


～平成28年度ネットパトロール(二巡回目まで)の結果から～

今年の5月から10月にかけて、小学校と特別支援学校はおよそ半数、中学校と高等学校は各校2回ずつネットパトロールを実施しました。

その結果、合計5,221件の不適切な書き込みが検出され、内容としては、

- ①個人情報の公開
- ②学校の悪評や特定の個人に対する誹謗中傷の書き込み
- ③飲酒や喫煙など違法行為を行っていると思われる画像の投稿などです。中でも①の個人情報の公開は、全体の99%を占めています。



参考：平成28年度ネットトラブル未然防止のためのネットパトロール等業務における問題投稿検出結果

## どのような個人情報を公開しているのか？

子どもたちがネット上で行っている個人情報の公開で多いのは、

- ①交流サイトのプロフィール欄に、学校名や学年、所属している部活動名などを挙げている
- ②書き込みの中で友人の氏名や顔写真を掲載している

などです。

## トラブルや犯罪被害に遭う可能性が高まる！

### 個人情報を公開してトラブルになった例 ※平成28年度ネットパトロールで検出された事例

- ・友人の学校名や顔写真を公開して誹謗中傷した結果、その行為をサイト内で批判された
- ・学校名を明かした上で飲酒している様子を投稿した結果、個人情報とともに拡散された

このように、個人情報の公開をネットパトロールで発見した時点では既にトラブルに発展してしまっている事案は数多くあります。

また、8月号のインターネットの「公開性」でも触れたとおり、子どもたちが各所に書き込んだ情報により、悪意ある人に個人を特定され、福祉犯被害に遭うなどの事案も全国で数多く発生しています。「たかが名前を書き込んだくらいで」では済まされない危険を伴うのが個人情報の公開です。

## 保護者の皆様へ

ネット上には、有害情報が多く流通していることや、子どもたち自身により不適切な情報を掲載している場合があることなどを十分認識し、子どもたちが使用する機器には発達の段階に合わせてフィルタリングを設定することや、その利用状況について子どもと話し合いながら定期的確認を行うことが大切です。（「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」の《保護者の責務》から）

また、子どもたちのインターネット利用にかかわり、困ったことがあったら、迷わず学校に相談しましょう。